

第1回 磐井川かわづくりワークショップ 意見

開催日時：H22.2.18(木)

開催場所：一関市役所大会議室

【黄色グループ】

(1)参加メンバー

黄色グループ 参加者名簿

| 氏名 | 所属団体等 | 備考 |
|-------|------------------|--------|
| 浅沼 善治 | 一関楽走会事務局長 | |
| 大内 健衛 | NPO 北上川流域連携交流会理事 | |
| 佐藤 馨 | 巖手一関龍馬会会長代行 | |
| 鈴木 嘉子 | 一般参加 | |
| 千葉 英志 | 一関釣りクラブ会長 | |
| 藤井 賢 | 一関 1 民区 | 民区推薦 |
| 高橋 弘恭 | 一関市役所 | グループ進行 |
| 渡邊 弘毅 | いであ 東北支店 | グループ記録 |

(2)検討概要

第1回磐井川かわづくりワークショップで検討したテーマとしては、『磐井川の良い思い出、悪い思い出』、『磐井川かわづくり(堤防改修)への期待、不安』、『かわづくりで大切にしたい視点』の3テーマでした。

『磐井川の良い思い出、悪い思い出』では、良い思い出として、磐井川での幼少時代の川遊びや河原での花火大会鑑賞などが挙げられました。また、悪い思い出としては、川のゴミ問題が多く挙げられました。

『磐井川かわづくり(堤防改修)への期待、不安』では、「色々なイベントを開いて他の地域から来てもらう」、「桜並木を今より長い距離植樹し、名所としたい」、「自然と人間が共生できる川」という期待を持っている反面、「ジョギングコース」や「工事により、川の中の水生生物に悪影響を及ぼす」といった現状の磐井川の良さが失われるのではないかという不安の意見が見られました。

『かわづくりで大切にしたい視点』では以下のことが挙げられました。

- ・施設整備
- ・楽しめる場
- ・安全・安心
- ・健康・スポーツ
- ・教育・啓蒙
- ・水質向上
- ・自然環境保全

次回のワークショップは3月18日(木)19:00からとなりました。



(3)参加者意見

ワークショップで出された意見

【磐井川を体の一部に例えると】

| 意見 | 理由 |
|--------------|---|
| 目 | ・溢れて困ることから。 |
| 血液（血管） | ・栄養分を運ぶため。 |
| 胴体（Body）中心です | ・北上川に接する街の中にある大事なポイント。上流部はまた違う顔を持っている。川原で集まっている人を観ると、川の中でもカヌー、カヤックで子供たちに親しめる川にしたい。2016年の岩手国体に向けても・・・。 |
| 背骨 | ・一関市の中心部を流れる。 |
| 小腸 | ・体に余計なものが溜まった時、排出をしてくれる。（水の余計なものを流してくれる） |
| 腹 | ・食べて、消化して、元気になる。 |
| 目 | ・市の中心にあり、桜の名所。憩いの場であるから。 |
| 背骨 | ・街の中心を貫くため。 |

【磐井川の良い思い出、悪い思い出】

| キーワード | 意見 | 意見に対する補足発言 |
|-------|---|--------------------------------------|
| 良い思い出 | ・子供との川遊び | |
| | ・堤防の草原に寝そべって読書！空を眺めて。 | |
| | ・鮎の放流を幼稚園の人達と行っている。 | 現在も行っている。 |
| | ・小さい頃、川原で花火を見るのが楽しみだった。 | |
| | ・春の菜の花に桜。そこをまたぐ鯉のぼり。 | 現在でも行われている。 |
| | ・川原に集う家族。 | |
| | ・朝夕のウォーキング。 | |
| | ・鮎釣りを子供たちといっしょにやりたい。 | 希望。 |
| | ・川で泳いだ。 | 40年位前に、黒沢橋より下流で。 |
| | ・桜の並木街が美しく、もっと長く伸ばして名所地に。 | 希望。 |
| 悪い思い出 | ・クラブで毎年6月末の日曜日に川の中の掃除を行っているので、かなりきれいになった。 | |
| | ・トイレがない。 | |
| | ・カヌー行事が組めない。 | 国体があと6年後にあり、今から小学生を育成したい。 |
| | ・川岸にゴミが溜まって汚く、見苦しい。RCで掃除をしているが。 | 他の川では、地域住民での清掃活動がある。 放置自転車の川への放棄。 |
| | ・犬のフンがある。 | |
| | ・農業祭の場所が磐井川でなくなった。 | |

【磐井川かわづくり(堤防改修)への期待と不安】

| キーワード | 意見 | 意見に対する補足発言 |
|-------|------------------------------------|--|
| 期待 | ・これを機に、より川に接する機会が増せばよい。 | 色々なイベントを開いて、他の地域から来てもらう。 |
| | ・鮎が遡上し、カヌーが出来、四季折々の草花が咲き、桜並木に鯉のぼり。 | 桜並木を今よりも長い距離を。自然景観を壊さない景観名所としたい |
| | ・水質向上。 | |
| | ・4km以上のコース設定。 | 今は周回で1.8km。JRの鉄橋まで欲しい。 |
| | ・川虫、鳥が多く住めるように期待する。 | 自然の状態に川の本来の流れに(自然の流路) |
| | ・市民の憩いの場としての利用拡大。 | 堤防上のウォーキングやサイクリングなど。 |
| | ・水害にならなくなる。 | |
| 不安 | ・工事による川底の砂溜まりが不安。砂利底になるように。 | 川底の水生生物が生息できるように。 |
| | ・ウォーキング、ジョギングのコースを残してほしい。 | 無くなってしまわないか不安。 |
| | ・堤防が高くなることで、水面へ近づきにくくなるのが心配。 | |
| | ・堤防が上がることによって市民から川が離れる事を恐れる。 | 今、学校では「川で泳ぐな」という教育。プールで泳げても、川では泳ぐ技術が子供にない。 |
| | ・堤防の高さが上がることよっての街の景観が変わること。 | |

【かわづくりで大切にしたい視点(目標)】

| キーワード | 意見 | 意見に対する補足発言 |
|---------|-------------------------------|--------------------------------|
| 安全・安心 | 子供達が安心して利用できるかわづくり | 上ノ橋の階段を安全に整備 |
| 楽しめる場 | 子供も大人の遊べる川、広場にする。 | |
| | 子供の遊びの広場づくり。 | |
| 健康・スポーツ | 4km以上のコース設定。 | |
| 施設整備 | 堤防上のウォーキング、サイクリングエリアの設定。 | |
| | 堤防外にトイレの設置。(上ノ橋上流) | |
| | 駐車場が欲しい。 | |
| | 自然を大切にしたい施設に努めて頂きたい。 | |
| 水質向上 | 昔のような水のきれいな川に戻し、色々な生物が住めるように。 | |
| | 飲んでも身体に害のない水の流れる川。 | カヌー利用時に、転覆した際に川の水が口に入っても下痢しない。 |

| キーワード | 意見 | 意見に対する補足発言 |
|--------|---------------------------------------|------------|
| 自然環境保全 | 鮎が遡上し、カヌーができ、四季折々の草花が咲き、桜並木に鯉のぼり | |
| | 川虫、鳥が多く住めるように期待する。 | |
| | 市民が四季の変化をたのしみにできるように。(川原へ行くことを楽しむ) | |
| | 工事による川底の砂溜まりが不安。砂利底になるように。 | |
| | 自然と人間が共生できる川 | |
| 教育・啓蒙 | 清流を取り戻すために、市民全体のモラルと教育および啓蒙活動を徹底すること。 | |

【専門的質問】

| キーワード | 内容 |
|-------|--|
| 堤防の材質 | 堤防はコンクリートになるのか？ |
| | 現存堤防には、豊等の前回大洪水で流出した様々なものが埋まっている。 |
| 磐井橋 | 沿川住民は磐井橋の改修を望んでいる。 |
| 遊水池 | 遊水池の機能は大丈夫か？ |
| 堤防高 | 堤防が2m上がると、どういうイメージになるのか？ |
| 水害意識 | 沿川住民の水害に対する意識はどの程度強いのか？ |
| 洪水時 | アイポート周辺の水田は、今でも洪水時に水没するのか？ |
| | 北上川から水が逆流した。 |
| 住民説明 | 堤防改修の本当の目的が知りたい。 |
| | 国交省の専門用語を使った説明では理解ができない。分かる言葉で説明して欲しい。 |
| 汚水流入 | 上流の養豚場が汚水を流していたが、改善されたのか？ |





以上